

申込方法 事前予約制。住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ真鶴町立遠藤貝類博物館へ電話(☎04651681211)(9時30分～16時・木曜休館)、またはN

参加費 大人300円、小学生・高校生250円、幼児50円
 日 時 3月9日(土)9時30分～16時30分
 集合 JR湯河原駅
 行程 幕山→ホテル城山(昼食)→不動滝→独歩の湯→スイーツファクトリーちぼり→湯河原駅
 ※解散後、希望者は日帰り温泉へご案内します。

「箱根ジオパーク認定特産品」決定!!
 小田原箱根商工会議所箱根支部を事務局としたジオパーク特産品開発委員会(委員長・鈴木茂男)では、箱根ジオパークのジオサイトや当エリアの自然や歴史などを想起させるオリジナリティあふれる飲食・土産品を「箱根ジオパーク認定特産品」として認定しています。
 今年度は新たに5品を認定し、合計で29品となりました。

◆箱根 自然薯揚げ
 【株式会社J'Sフードシステム】



◆大涌谷 黒たまばくだん
 【株式会社鈴廣蒲鉾本店】



◆曾我の彩り
 【神尾食品工業株式会社】



◆関所札まんじゅう
 【株式会社すずしん】



◆小田原城を攻めるのはあな た!! 難攻不落の石垣うめスコーン
 【Natural sweets Toitok】



◆箱根ジオパーク認定特産品決定!!
 小田原箱根商工会議所箱根支部を事務局としたジオパーク特産品開発委員会(委員長・鈴木茂男)では、箱根ジオパークのジオサイトや当エリアの自然や歴史などを想起させるオリジナリティあふれる飲食・土産品を「箱根ジオパーク認定特産品」として認定しています。
 今年度は新たに5品を認定し、合計で29品となりました。



「南足柄市郷土資料館」

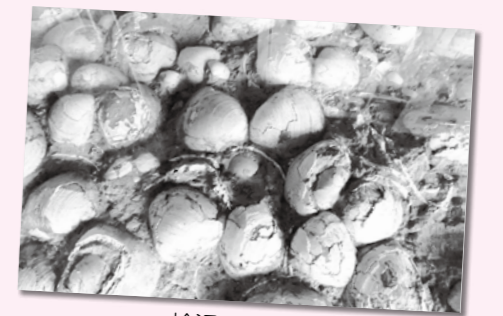


おいらは、箱根ジオパークの拠点施設の1つである南足柄市郷土資料館にやってきたよ。南足柄市郷土資料館は、天狗伝説が息づく森の中であって、南足柄の歴史や文化を紹介する施設なんだ。館内には、南足柄市から箱根町エリアの大きなジオラマがあり、足柄道の解説やこの周辺で見られる岩石や貝化石の標本も展示されているよ。なかでも、ハマグリなどの貝化石がおすすめだよ。これらの化石は、約200万年～70万年前にできた足柄層群に含まれていて、伊豆地塊が本州に衝突していくときにできたんだ。南足柄市では、この足柄層群が見られる場所もあるんだよ。

2月16日から3月31日には、「第17回 雛の館 森のひなまつり」が開催されるんだ。なんと、江戸時代から明治・大正・昭和・平成と各時代の雛人形が勢ぞろいするよ。特に江戸時代の享保雛や内裏雛は調度品一式が揃っていて、とても見ごたえがあるんだよ。

南足柄エリアのジオサイトを紹介しているコーナーもあるからみんなもぜひ「南足柄市郷土資料館」に遊びに来てね!

さあ～て、次はどこに行ってみようかな。



蛤沢の貝化石

◆照会先

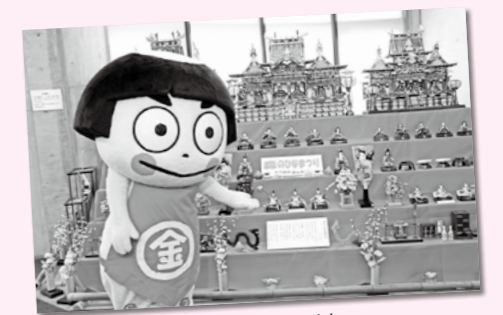
南足柄市広町1544 ☎0465-73-4570

◆ホームページ

http://www.city.minamishigara.kanagawa.jp/kurashi/manabi/bunka/kyoudo/

◆アクセス

伊豆箱根鉄道大雄山線「大雄山駅」から道了尊行きバス(おんりーゆー経由)で「おんりーゆー」下車、徒歩6分



森のひなまつり